



# 四国アライアンス

## N E W S R E L E A S E

2021年3月24日  
株式会社 百十四銀行

### (一社)四国ツーリズム創造機構、四国経済連合会との共同による 「四国の観光ビジョン」の策定について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）、阿波銀行（頭取 長岡 奨）、伊予銀行（頭取 三好 賢治）、および四国銀行（頭取 山元 文明）は、一般社団法人四国ツーリズム創造機構および四国経済連合会と共同で「四国の観光ビジョン」を策定し、本日公表いたしましたのでお知らせいたします。四国アライアンスは、今後も四国の観光振興に取り組み、四国創生の実現を図ってまいります。

なお、詳細につきましては別紙をご覧ください。

以 上



いい出会い ぶくらむ未来

百十四銀行

高松市亀井町5番地の1

TEL 087-831-0114(大代表)

# 四国の観光ビジョン

～広域観光デスティネーション

『四国~Shikoku~』ブランドの確立を目指して～

(一社) 四国ツーリズム創造機構  
四国経済連合会  
四国アライアンス

2021年3月24日

# 目 次

1. 四国の観光ビジョン策定のねらい	3
2. 四国の観光ビジョン	4
3. 取り組み指針・重点推進項目	5
4. 2025年度に向けた4大重点実行計画と事業推進方法	7
5. 推進体制	11
〔参考資料〕 今後5年間に予定されている主なイベント	12



# 1 四国の観光ビジョン策定のねらい

## 四国観光の現状

- ▶ 地域資源を活用した観光コンテンツづくり
  - － 意欲ある人材・組織による地点毎の取組
  - ⇔ 個別取組だけでは誘客に限界あり
- ▶ コロナ禍に伴う観光関連産業への打撃
  - － 増加基調にあったインバウンドの消失
  - ⇔ 新しい観光の在り方を模索中

## 今後の動き（チャンス）

- ▶ 大規模国際イベントに伴う訪日機会の増加
  - － 2021年 東京オリンピック・パラリンピック
  - － 2025年 大阪・関西万博
- ▶ コロナ禍からの段階的な観光回復
  - － 客数重視と“質”重視のバランス
  - － 一極集中から分散化に伴う地方選好

## ビジョン策定の ねらい

四国観光を巡る環境変化をチャンスと捉え、以下をねらいに策定

- 観光関係組織が目指す方向性の共有による一体的取組の推進
- 連携と役割分担による周遊型広域観光の推進

### 四国観光の将来像

#### 広域観光デスティネーション『四国~Shikoku~』ブランドの確立

～4つの顔、独自性を持つ、魅力溢れる自然と文化を繋ぎ、四国がひとつとなった広域観光を通じて、国内外に開かれた持続可能な地域づくりの一翼を担う～

### 2025年度に向けた 指針・重点推進項目

#### <取り組み指針>

繋がる 広げる 未来を拓く

#### <重点推進項目>

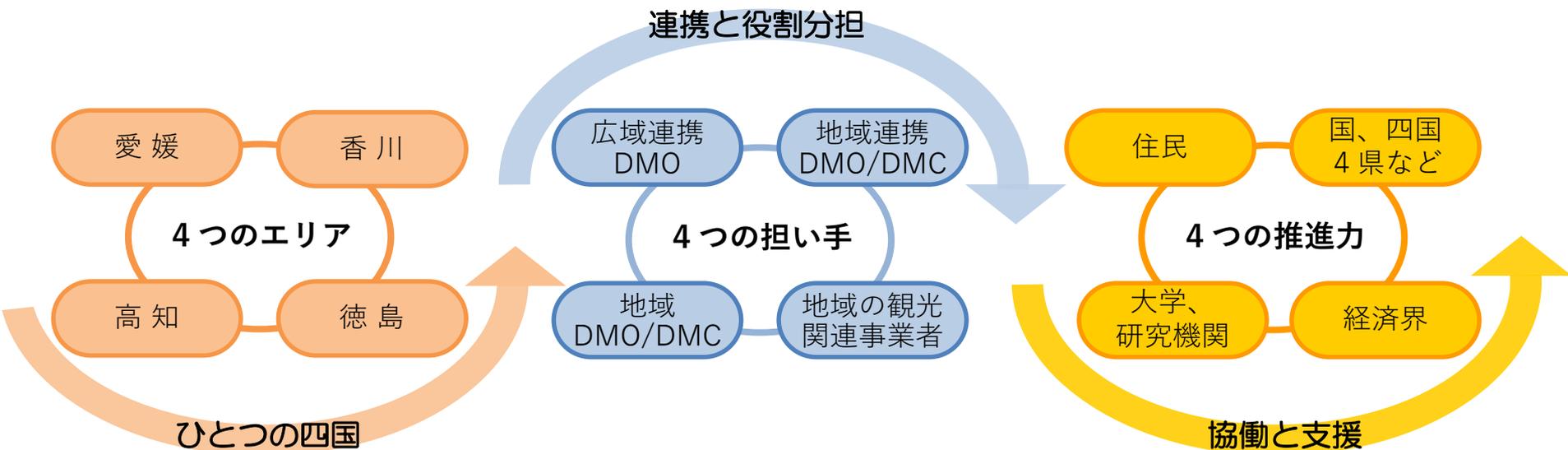
- ①地域・組織の一体的な連携と協働
- ②観光コンテンツの広域組成と販売促進・マーケティングのDX化
- ③地域固有の自然・文化を紡ぐサステナブルツーリズムの推進

#### <キャッチコピー>

しあわせぐるり、しこくるり。

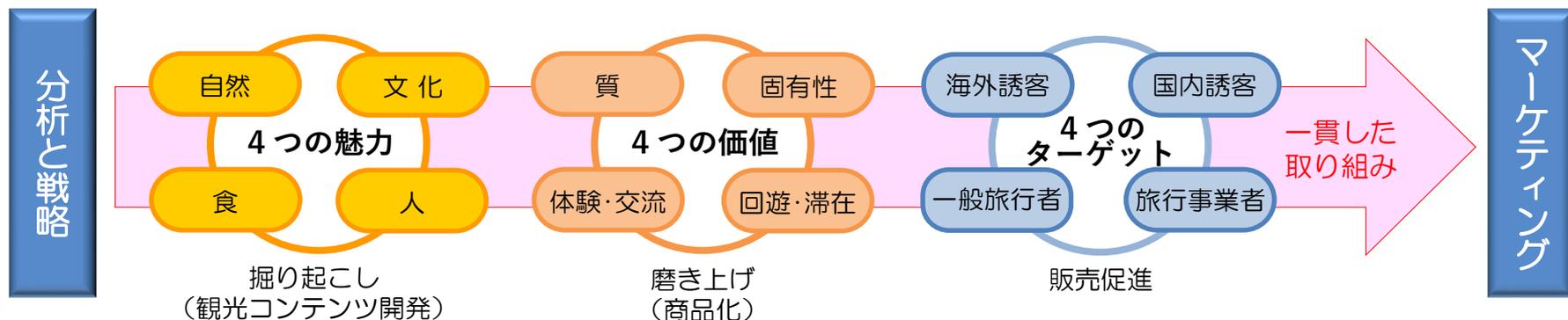
～ 巡る。四国 ～ 協力:Shikokuブランド(株)

## 【繋がる】地域・組織の一体的な連携と協働



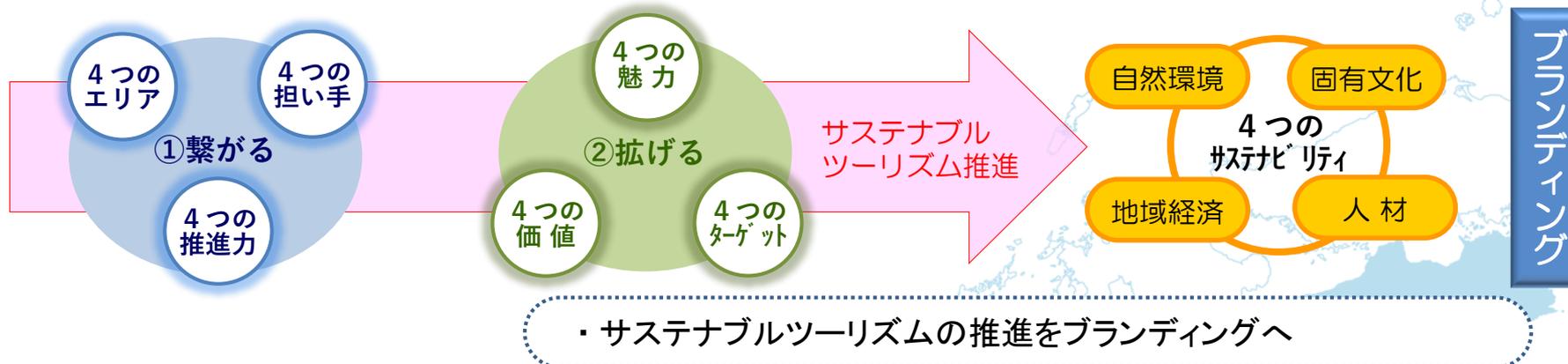
- ・ 個性豊かな4つのエリアを1つの地域としてブランディング
- ・ 地域観光の推進に取り組む4つの担い手の連携と役割分担
- ・ 担い手の連携と役割をそれぞれの分野で協働・支援

## 【拡げる】観光コンテンツの広域組成と販売促進・マーケティングのDX化



- ・ 地域資源を地域間競争力の源泉となる固有性で観光素材化
- ・ 市場のニーズを踏まえた商品・サービスとしての付加価値付け

## 【未来を拓く】地域固有の自然・文化を紡ぐサステナブルツーリズムの推進



# 4 2025年度に向けた4大重点実行計画と事業推進方法

## ◇重点実行計画1

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
繋がる 事業者間の ネットワーク づくり	<p><b>[域内関係団体や周辺エリアとの連携]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国域内の地域や組織の一体的な連携と協働</li> <li>・中国、関西など周辺エリアとの連携推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国域内の一体化による四国ブランドの確立と観光付加価値の向上</li> <li>・周辺エリアからの誘客拡大による四国観光の底上げ</li> </ul>

### 「あるべき姿」とそこに至るまでの「具体的な実行計画」

○四国ツーリズム創造機構(以下、四ツ一創)が旗振り役となり、域内のDMOや関連事業者・組織等との間で戦略、課題等の情報共有を図り、**連携強化と役割の明確化を通じて一体的に観光振興策が展開**できている。

〔協力〕四国経済産業局、四国運輸局、四国4県等の自治体

2021年度	・域内のDMO、関連事業者・組織等と四ツ一創による戦略、課題等の情報交換機会の継続的開催、情報共有化
2022年度～	・域内のDMO、関連事業者、四ツ一創等による共同事業の計画策定と実行

○大阪・関西万博や関西でのIRを見据え、**周辺エリアと連携した広域周遊型観光が実現**できている。

〔協力〕周辺エリアの経済団体や広域連携DMO(せとうち観光推進機構、関西観光本部)

2021年度	・四国経済連合会、四国アライアンス等と協働し、関西、中国エリアとの連携による誘客促進に向けた共同事業・プロモーション方法等を協議開始
2022年度～	・関西、中国エリアと連携した共同事業・誘客プロモーションの展開

# 4 2025年度に向けた4大重点実行計画と事業推進方法

## ◇重点実行計画2

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
<b>拡げる</b> <b>価値の磨き上げ</b>	<b>[観光コンテンツの広域組成]</b> ・地域固有の観光コンテンツの質や固有性の磨き上げ、広域的にまとめることによる商品化の推進 [ 例) 四国遍路、ナイトタイムエコミー事業、酒蔵ツーリズム、アドベンチャーツーリズム、スポーツツーリズム、教育旅行、ワーケーション、祭り・郷土芸能など ]	・魅力ある広域的な観光コンテンツの確立 ・四国の観光ブランドの向上

### 「あるべき姿」とそこに至るまでの「具体的な実行計画」

- 四国域内の共通・類似する観光コンテンツを結び纏め、**広域的に周遊観光できる仕組み**ができています。
- ワーケーションなど「新しい生活様式」にもとづく**新たな四国旅のあり方を提案し、普及・定着**している。  
 [協力] 観光庁、四国家サポーターズクラブ\*

2021年度	・四ツ一創、地域連携DMO等が主体となり、四国経済連合会、四国アライアンス等と連携しながら、広域での観光コンテンツの造成・磨き上げ ・四国周遊型ワーケーション推進協議会における具体検討とモニターツアーの実施
2022年度～	・広域周遊型の観光コンテンツについて、商品化⇒情報発信⇒誘客分析のプロセスを通じて周遊型観光への誘客を拡大

※四国家サポーターズクラブ：四国の活性化に賛同・協働する企業等の集まり

# 4 2025年度に向けた4大重点実行計画と事業推進方法

## ◇重点実行計画3

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
拡げる 販促活動の強化・充実	<p>[国内外への販売促進・マーケティングのDX化（デジタルトランスフォーメーション／デジタル技術の導入による業務変革）]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>デジタル技術を活用した販売促進・マーケティング活動の変革</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>デジタルマーケティングの活用による効果的な誘客、販売促進活動の展開</li><li>デジタル技術の活用による効果的かつ検証可能な販売促進を実現</li></ul>

### 「あるべき姿」とそこに至るまでの「具体的な実行計画」

- 誘客・販売促進活動の実効性を高めるため、デジタル技術を活用した情報発信と結果の可視化・分析など**デジタルマーケティングが有効に機能**している。
- 四国の観光プラットフォームを構築し、域内の事業者および来訪者に有効活用**されている。

〔協力〕 四国4県等の自治体など

2021年度	<ul style="list-style-type: none"><li>各DMOによる四国内観光関連事業者に対するデジタル活用の後押しと四国域内の旅前情報の発信力向上</li><li>四国域内の着地型商品を集約したDMS*導入に向けた情報収集と導入システムの検討</li></ul>
2022年度～	<ul style="list-style-type: none"><li>DMS導入によるデータ収集と検証可能な販売促進、マーケティングの実現</li><li>メディア戦略の拡充による海外向けマーケティング手法の改善</li><li>個別マーケティングを可能とする観光CRM（顧客管理）の構築</li></ul>

※DMS：Destination Management System の略

# 4 2025年度に向けた4大重点実行計画と事業推進方法

## ◇重点実行計画4

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
未来を拓く	<b>四国ブランドの確立</b> <b>[人材育成・持続可能な観光への取り組み]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国観光の将来を担う人材の育成</li> <li>・ 持続可能な観光への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光関連の人材育成を通じた、定住増や四国のブランディングへの貢献</li> <li>・ 持続可能な観光の国際認証・GSTC※の取得による四国のブランディングの推進</li> </ul>

### 「あるべき姿」とそこに至るまでの「具体的な実行計画」

- 大学・各種学校等と連携した社会教育、共同事業を通じ、**郷土愛溢れる四国観光の担い手が育っている。**
- 自治体や各組織が持続可能な観光の実現に向けた取り組みを推進、**「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりが実現**している。

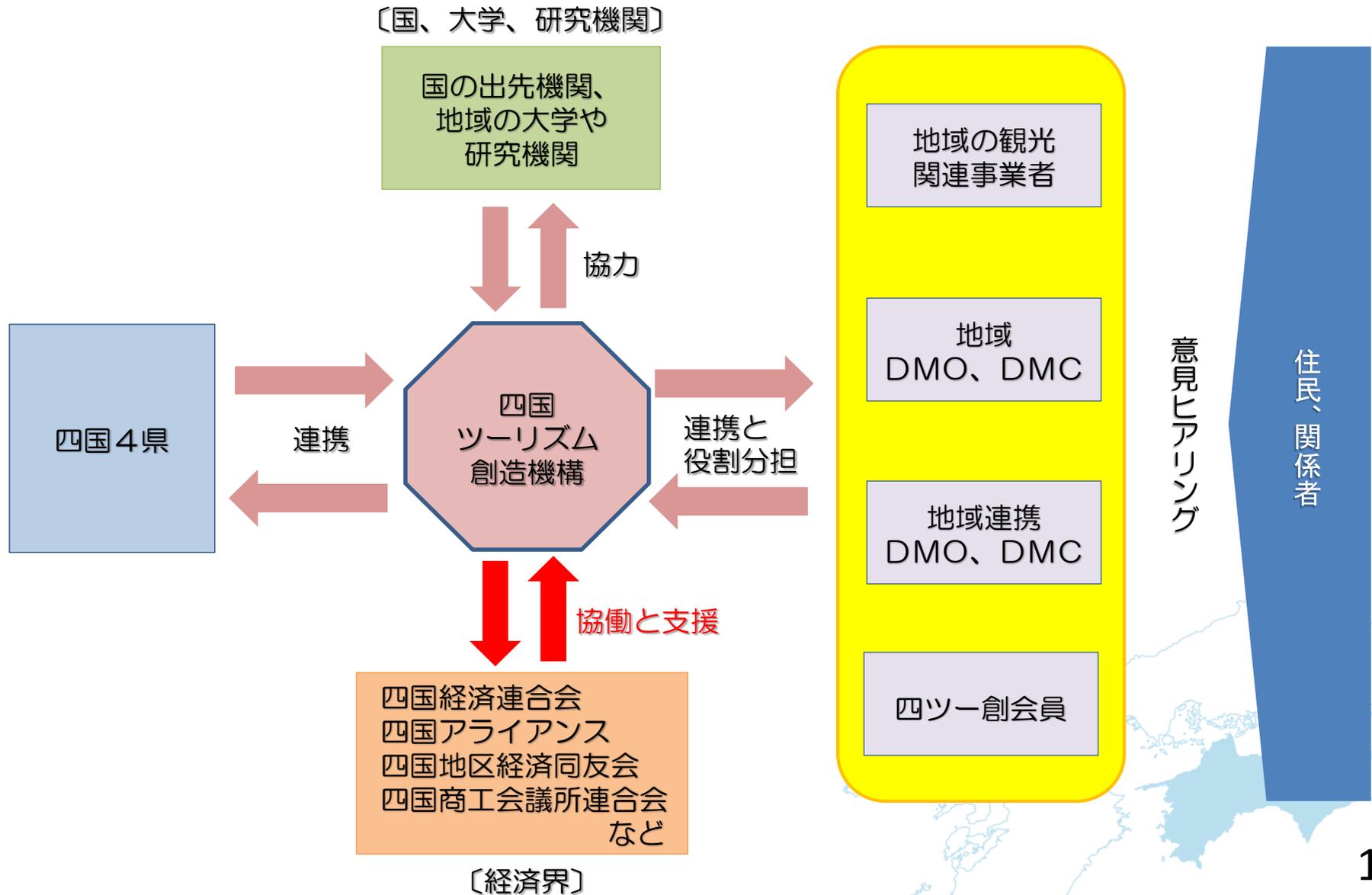
〔協力〕観光庁、四国4県等の自治体、大学など

2021年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香川大学での観光講座の継続、および各DMOと協働した四国4国立大学への展開を検討（四国経済連合会、四国アライアンスは講師選定・派遣に協力）</li> <li>・ 四ツ一創を中心に「GSTC推進協議会」を設立し、認証取得に向けた自治体等への啓発活動を推進</li> </ul>
2022年度～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国4国立大学と連携し、観光施策を実践</li> <li>・ 四ツ一創を中心にGSTC認証を目指す自治体の後押し、複数自治体の認定取得の実現</li> </ul>

※GSTC：Global Sustainable Tourism Criteria（持続可能な観光の国際基準）の略

# 5 推進体制

## 「四国ツーリズム創造機構」を扇の要とする四国の観光ビジョン推進体制



# 〔参考資料〕 今後5年間に予定されている主なイベント

	四国域内	四国域外
2021年度	えひめ南予きずな博（7～12月） 四国デスティネーションキャンペーン （10～12月） リョーマの休日	東京オリンピック・パラリンピック[夏季] （7～9月） 北京オリンピック・パラリンピック[冬季] （2022年2～3月）
2022年度	瀬戸内国際芸術祭（春・夏・秋会期：計105日） サイクリングしまなみ2022 全国高校総体 [四国]	ワールドマスタースゲームズ関西 [※徳島県も開催地]（5月）
2023年度	弘法大師空海生誕1250年 [※2023暦年] 全国健康福祉祭（ねんりんピック）えひめ大会 （10月） 全国中学校体育大会 [四国]	
2024年度	逆打ちお遍路 [※2024暦年]	パリオリンピック・パラリンピック[夏季] （7～9月）
2025年度		大阪・関西万博（4/13～10/13） ミラノ・コルティナダンペッツォ オリンピック・パラリンピック [冬季] （2026年2～3月）

## (一社)四国ツーリズム創造機構、四国経済連合会、四国アライアンス による「四国の観光ビジョン」の共同策定について

この度、一般社団法人四国ツーリズム創造機構、四国経済連合会、四国アライアンスの3団体は共同で「四国の観光ビジョン」を策定いたしました。四国域内の個々に独自性を持つ、魅力溢れる自然と文化を繋ぎ、四国が一体となった周遊型広域観光を実現することで、四国の認知度を飛躍的に高め、四国ブランドを確立することを目指したものです。

3団体では、今後、策定したビジョンに基づき、四国の観光活性化を担う専門組織である（一社）四国ツーリズム創造機構を扇の「要」として、重点実行計画として絞り込んだ項目を中心に、各県、各エリア、観光関連事業者と緊密に連携して、取り組むこととしております。

### 1. 記者発表の概要

- 公表日時：令和3年3月24日（水） 午前11：00
- 公表場所：JRホテルクレメント高松 3F「玉藻」
- 発表者：（一社）四国ツーリズム創造機構 代表理事 半井 真司  
四国経済連合会 会長 佐伯 勇人  
（株）四国銀行 頭取 山元 文明（四国アライアンス代表行として参加）
- 配布資料：四国の観光ビジョン  
～広域観光デスティネーション  
『四国～Shikoku～』ブランドの確立を目指して～〔※添付資料参照〕

### 2. 「四国の観光ビジョン」の概要

- 目指すべき将来像：  
広域観光デスティネーション『四国～Shikoku～』ブランドの確立  
～4つの顔、独自性を持つ、魅力溢れる自然と文化を繋ぎ、四国がひとつとなった  
広域観光を通じて、国内外に開かれた持続可能な地域づくりの一翼を担う～
- 重点推進項目〔対象期間：2021～2025年度〕
  - ① 地域・組織の一体的な連携と協働
  - ② 観光コンテンツの広域組成と販売促進・マーケティングのDX化
  - ③ 地域固有の自然・文化を紡ぐサステナブルツーリズムの推進

以上